

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○地域・保護者と協力し、自ら進んで行動し、毎日わくわくする学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア学年活動や道徳教育を充実することで、主体性や規範意識を育てます。 ・個のニーズを把握し、それに応じた指導に努めます。 ・一人ひとりが自己有用感をもって楽しく学校生活を送れるようにします。 ・校内組織を生かした児童理解、児童指導に努めます。 ・健康安全に気をつけ体力増進を図ります。 ・地域や家庭の力を生かした教育活動に努めます。 ・学習の基礎基本が定着するよう、授業改善に努めます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組		
豊かな心	<p>①引き続き、授業を通して、人権・道徳教育の指導力向上に努める。また、体験を通して、他者とのかかわりや自己を見つめ、規範意識や自尊感情を高められるよう、多様な体験活動を推進する。②ペア学年活動や総合的な学習、行事などの様々な活動の中で、異学年や地域の人とのふれ合いを大切にする。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">担当</td> <td>研究部(人権・道徳)</td> </tr> </table>	担当	研究部(人権・道徳)	
担当	研究部(人権・道徳)		

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」に関わる課題)

話したり聞いたりすることが好きと答える児童が多く、人とのつながりを大切にし、その中で自分らしさを表現しようとする姿が見られる。しかし、相手の気持ちや立場への配慮に欠け、トラブルになる場面も見られる。自分の思いや考えを伝えるための表現力には課題が残る。また、道徳的価値は理解しているが行動に表すことには消極的である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育 (必須項目)

- 道徳教育について、家庭・地域に発信する。
 - ・学校だより・学年だより等で、家庭・地域に発信し、意識の啓発を図ると共に、連携して子どもを育み、家庭・地域の指導力を道徳の時間に生かす。
- 中学校ブロックでの話し合いをして、人権推進の方向について共通理解をし、教職員の人権意識を高め、指導に生かす。

【項目 体験活動】

- 体験を通して、他者とのかかわりや自己を見つめ、集団や社会の一員であることを実感しながら自尊感情をたかめられるよう、多様な体験活動を推進する。
 - ・ペア学年など、学年を超えたふれあいを大切にする活動を推進し、より主体的に取り組めるようにする。
 - ・地域行事への参加やボランティア活動への取組を進め、地域への思いを育てる。